



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2024年6月1日

6月

 268号

奈良・人と自然の会



<鹿よけネット周辺の草を刈っています>



Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL <http://www.naranature.com>



第23回通常総会・レポ	1	仲間入りしました	8
組織変更のお知らせ	2	平城山礼讃	9
ならやまプロジェクト	3	海外ボランティア (パラグアイ9)	10
Monthly Repo ならやま	4	ギャラリー	11
里山の今 (エコ、景観)	5	行事案内	12
佐保川小学校自然観察会・レポ	6	幹事会報告、こもれび	13
平城宮跡草刈り・レポ	7		

第23回

通常総会 開催

田中 善英

<会長挨拶>

お忙しい所、総会に参加いただきありがとうございます。2001年9月にスタートした当会は多くの助成もいただきながら今日まで活動を続けることができ、23年半を過ぎてまさに円熟期にあります。ただ、社会情勢が変化する中で入会者が減少傾向にあり、高齢化と少数化という大きな課題を抱えています。現在の当会の会員数は133名ですが、去年の総会で報告した会員数は151名でした。課員数はこの1年間で18名減少しています。

この状況に鑑み、この4月から土曜活動日を組み込むことで働く人の参加機会を作ることになりました。土曜日に活動していると、散策されている方とお話できる機会もあります。当会に興味を持っていただくことで、少しでも若い入会者が増えることを願っています。

さて総会は言うまでもなく会員のためにあり、会の実態を共有する貴重な場です。ぜひとも「力を合わせる」意義やその目的、具体的な事柄について一緒に考えることができればと思います。

そのため今回の総会議案の進め方は活動状況がわかりやすいように項目・グループごとに実績と計画を続けて説明する形にさせていただいています。是非、会の実態をもう一度再認識していただき、普段あまり直接に携わらないグループの活動の内容も共有いただける場になればと思います。

議事進行についても、各事項の説明は要点を簡潔に説明し、円滑に会議を進めていきたいと考えています。ただし質疑はいつでも提議していただいても結構です。限りある時間の中ですが、会の状況を共有できればと願っています。

<レポ>



5月18日、第23回通常総会が奈良市中央公民館で開催されました。定刻13時15分、初めに出席

人員数の確認が行われ、出席者37名、委任状提出者74名、合計111名となり、現在の会員数(133名)の過半数を満たしており、総会が成立することが確認されました。

総会開催の通告のあと会長挨拶、続いて議長の選出があり、中井弘さんが議長となって議事が開始されました。

まず、第1号議案「役員改選の件」について会長から説明、審議があり、承認されました。

新役員による「役職選任の審議」のため、総会は10分間の休憩の後に再開、千載さんから審議結果として役職体制の説明があり、会長には千載さんが再選され、副会長は富井さん、小島さん、会計は尾崎さん、有元さんにそれぞれ担っていただくことが報告されました。

続いて、第2号議案「活動報告(実績および計画)の件」が審議されました。ならやまプロジェクトの説明の後、里山グループから里山林地図を用いた里山林の中期的な保全活動計画の説明がなされたのを始めとして各グループから活動状況、今後の計画の報告があり、満場一致で承認されました。

最後に第3号議案「収支及び予算の件」について審議・承認され、総会は予定通り15時に閉会しました。



16時から場所を変えて懇親会が開催され、25名が参加されました。鈴木さんの乾杯の発声に続いて、歓談の輪が広がり、グループ、活動の範囲を超えて、大いに盛り上がりました。

組織体制変更のお知らせ

千載 輝重

先般開催された第23回通常総会において役員改選が行われ、新たな幹事による臨時幹事会において、新組織体制について承認されましたのでお知らせいたします。役員一同、会の円滑な運営に努めてまいりますので、皆さまのご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

奈良・人と自然の会 組織体制表					2024.5.18
<役員>					
幹事	青木芳、飯島、有元、内河、太田、尾崎、清原正、小島、千載、田中善、戸田、富井、富江、豊田、福田、三瀬、山上、山本隆・・・18名				
監査役	中川徹				
<役職>					
会長	千載				
副会長	富井、小島				
会計	尾崎、有元				
顧問	鈴木				
参与					
<組織>					
部門	部長	グループ	GL		チーフ
総務部	千載				
		事務	田中善	庶務	田中善、青木幸
				渉外	戸田
				イベント	富井
				助成金事業	小島、田中善
		会計	尾崎	会計・出納	有元
		広報	田中善	会報誌	青木幸
				HP	尾崎
ならやま事業部	富井				
		管理			富江、青木幸
		里山	山本隆	副リーダー	清原正、平山、福田
		エコ	青木芳	副リーダー	足立、池山玲、佐竹、富江、梨本、三瀬、吉村、
		景観	内河	副リーダー	太田、澤田、中島、田中善、宝田
		パトロール	小島	副リーダー	山上、飯島、塩本
		果樹	有元	副リーダー	尾崎、豊田
自然文化部門					
		月例	戸田	副リーダー	青木幸
		自然教室	小島	副リーダー	山本美
		自然工作	飯島	副リーダー	桜木、村上

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
あなたも私も・力合わせて

梅雨前線が近づいた。先日、小学校の学習支援で梅の実がたくさん熟れる頃に雨が同じようにたくさん降るので梅雨というんだよと説明したが、暖冬だったこともあってか今年梅の実が極端に少ない。一方、今を盛りのハコネウツギの白やピンクのきれいな花が青空に映え、桑の実が自転車道を覆うようにたわわに実って、落ちた実が周辺を真っ黒に染めている。



五月の空に映えるハコネウツギ

農園ではさまざまな夏野菜やイモ類の植え付けに忙しく、また今月は16年続く佐保台小児童と協働での田植えが予定されている。雑草も勢いを増し、体力的にもきつくなるが、健康と安全には十分に気を付けて無理をしないように活動しなければと思う。

6月の活動特記事項 活動日：6(木), 13(木), 22(土), 27(木)

- 6月 6日(木)： 協働活動 ①佐保台小学校農事体験学習(田植え)雨天順延(13日)
②シイタケ榎木の本伏せ・天地返し
③アダプトプログラム

6月 27日(木)： 春の感謝祭 雨天順延(28日)

6月の各グループ活動予定

グループ	活動予定
里山	シイタケ榎木の本伏せ・天地返し 里山林内整備(No.22~24、A地区、アカマツ林)、薪割り
エコファーム	田植え(佐保台小農事体験学習)、春の感謝祭とそのためジャガイモ収穫 水タンク設置準備、鹿除けネット補修 野菜の定植(ナス、ピーマン、落花生、スイカ、カボチャなど)
景観	整備：BC、彩の森、佐保自然の森の草刈り、蜜蜂巣箱点検整備 ビオ：池・水路の景観保全・整備 花：自転車道沿い花壇、アジサイ周辺草引き
パトロール	1~3コースパトロール 観察路整備、笹草刈り
果樹	実りの森の草刈り、土壌改良、灌木整理

活動日：第4土曜日およびその他の週の木曜日 9:00~15:00

前日の19時現在の気象庁予報(NHKTV奈良 19時前放送)の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止



Monthly Repo. **ならやま**

富井 忠雄

4月25日(木) 晴 1名+近大生3名

ビオ班と近大生がタナゴの定期調査を実施。ザリガニ駆除と田貝の調査を行う。

4月27日(土) 曇り・雨模様、48名+1名

土曜日の活動を行う。初めての試みであったが多数の参加者があった。近隣から一人、見学に来訪。

里山GはNo.5地区の処理したチップの運搬、BCのテーブルの敷設、薪割り。エコGは田植え前の粃播き、ジャガイモの除草と施肥、畑の草刈りなど。景観Gは佐保自然の森の筍掘り、BCと第2駐車場の草刈りなど。花班はアジサイ園周辺の草引き。ビオ班は第1駐車場西側の水路、土手の草刈り。パトロールGは自然観察路の笹草刈り、桜山の鉄杭とロープの撤去など。果樹Gは山菜の収穫、実りの森の除草。



5月2日(木) 晴 66名

5月最初の活動日で各Gが参加してアダプトプログラムを行う。来週の平城宮跡の草刈り、6月4日の例会の案内があった。

里山GはNo.5地区の枝葉の整備、玉切りした薪材の運搬、薪割り。エコGは水田周囲の草刈り、カボチャの植付け、ジャガイモの芽掻きと追肥。景観Gは佐保自然の森の筍掘り、第2駐車場、BC、彩の森の草刈り。花班はカンナの

移植、花壇の草引きなど。ビオ班はザリガニ駆除、水田東側の湿地の草刈り。パトロールGは観察路2コースのパトロール、エントランスの階段の補修など。果樹Gは実りの森の除草、赤シソの畝作りと種まきなど。



5月9日(木) 晴 76名

朝から景観Gを中心とした有志が参加して平城宮跡の草刈りを実施。

里山Gは部分皆伐した地区の枝葉の整備、薪用の玉切り材の運搬、薪棚の更新、薪割り。エコGは水田の草刈り、ピーマン、カボチャなどの苗の植付け、小松菜など収穫。景観Gは平城宮跡の草刈りなど。花班はシャガの草引き、山野草園の草引きなど。ビオ班はビオエリアの整備、緑陰広場の水路の草刈り。パトロールGは観察路3コースのパトロール、他観察路の草刈り、数珠玉の整備。果樹Gは実りの森の除草、赤シソの畝作りなど。

5月16日(木) 曇り 67名

朝から風が強く作業がはかどらなかった。JR境界フェンスへの倒木を奈良県に連絡。

里山GはNo.24地区の松の枯死木の伐採、薪棚の更新と薪割りなど。ユートピアはアカマツの森の間伐。エコGはカボチャ苗の植付け。景観GはJR線路沿い、自転車道路沿い草刈りなど。花班は山野草園の草引き。ビオ班はビオエリアの整備、第1駐車場西側水路草刈りなど。パトロールGは観察路1コースのパトロール、笹草刈り、ロープの張替、ナギの植樹、数珠玉地整備。果樹Gは実りの森除草、チップ作業。

エコグループ



景観グループ

エコGビニールハウスの更新

梨本 哲

二つあるビニールハウスの北側の一棟が木と竹材の骨組みの経年劣化と雨漏りのため、昨年に更新が決定し、今年2月から3月にかけて更新作業を行った。作業概要は以下です。

1月に既設ハウスの取り壊しを行った。

2月8日、ハウス設置の地盤固め。木の切り株を二人で持ち上げ落下させたが効率が悪いので中止、人が足で踏みつける方が楽にできた。

2月15日ハウス設置地盤の水平確認を水チューブと水平器(1.5mの垂木に水平器を取付)を利用して行い、またピタゴラスの定理により直角を確認して、地盤の4方向に水平垂直の基準系を張った。基準系で水平を確認し地盤が低い部分に真砂土を投入、人が踏み固め、水平器で水平を確認した。

2月22日ハウス周囲に排水溝を掘った。

3月7日ビニールハウス(間口2.2m×奥行き6m×高さ2.1m)の組み立て作業をメーカー説明書のとおり実施した。部品の不足は無く無事完了した。この作業は楽しかった。

3月14日樹脂フィルムシート張り作業を説明書どおり実施できた。

3月28日ビニールハウス外周に防草シートを貼り全作業完了した。残問題として台風到来前の事前対策をどうするのか検討が必要だ。



ビニールハウス完成写真

5月のならやま

羽尻 嵩

時は5月。JR電車の下のトンネルを潜ると、この会が活動するベースキャンプに到着した。朝の清々しい光を浴びながら自転車を止め、朝礼の始まるまで少し時間があつたので、里山へ続く小道に入ってみた。



小道には木漏れ日が差し込んで、ツツジの花が慎ましく色を添えている。昨年の台風の後、小枝が通路に落ちて

危険なため、大木が間伐されて道に奥行きが出てきた。「これぞ里山」といえる原風景だ。

次に北側の西池のエリアを見て回った。



池の周りには白い花が一面に咲き乱れていた。ハルジオンの花です。(よく似た花で、ヒメジオンがあります。)

ハルジオンはヒメジオンと共に日本では別名「貧乏草」ともよばれ、手入れの行き届いていない家の周囲でよく見かけるので、そのように呼ばれてきたようです。しかし、私は春の到来を告げてくれて、素朴な草花なので大好きです。

この時期のビオ池の周辺は草刈りをしません。それは、いろんな草花があることで、虫など虫たちの住処を守りたいということです。ご理解ください。

佐保川小学校自然観察会レポ

小島 武雄

5月の予定でしたが、小学校からの要請で、急遽4月開催となりました。メンバー6人がなんとか都合をつけてくださり、春の校庭樹木観察会をひらくことができました。



メンバー挨拶

天気予報は直前まで雨模様でしたので、雨天時のプログラム（樹木写真での説明と10円玉磨き、葉書）まで用意して臨みました。前日までどうなるか不安でしたが、当日は朝から雨も上がり、青空も少し見えてきて校庭には水たまりもありません。絶好の観察日和となりました。

新4年生2クラス、9時30分・10時40分から各45分授業です。集合時間通りに28人と32人が校庭に出てきました。子どもたちは、何が始まるのか少し不安そう。

元気の挨拶の後、最初に子どもたちに樹木の意味、観察とは見る・触る・匂いを嗅ぐ事など確認をしました。これから3班に分かれて19種類の樹木観察を行います。それぞれの場所から一斉に始まります。

A地区（佐保川の森）は、クスノキから。春は古い葉が新しい葉と入れ替わる時期、たくさん落ちている葉を拾い上げ、天然樟腦の匂いを確かめます。子どもたちからは、「鼻がスースーする。どこかで嗅いだような？」の反応。すぐ横に梅の実がなっていました。まだ緑ですが、ほんのり紅く色づいています。「これ食べられるの?」。いろんな質問が出ました。

ピンクのハナミズキの花の前では、120年前に日本の桜の木とアメリカのハナミズキが交換

された話のあと、アメリカで咲く満開の桜の写真を見て、「これなんか違うと思った。やっぱりアメリカか!」



ハナミズキ観察

校庭のフェンス沿いにあるキリの木の前では、同じような大きさの違う木の丸太を持たせて、重さ比べをしました。みんなの反応は「???」でした。でも、キリの筆筒と下駄の写真には、「これおばあちゃんの家にあった。お



相撲さん履いているの?」。

ユズリハの葉の新旧交代の話は、むしろ先生方

の胸に響いた様でした。

校庭の奥のヤマモモの実が6月にいっぱいなる話は、しっかりと聞いていました。



ヤマモモの話

残念ながら時間切れ、全ては伝えられませんでした。楽しんで興味を持ってくれたと思います。

次は、「秋にやりますよ。楽しみに!」で終了。気温も25度くらいに上がり、メンバーは暑さで、上着を脱いで頑張りました。本当にご苦労様でした。

最後に校長室で、子どもたちが使う大谷選手のサイン入りグローブを見せてもらいました。私たちも感激でした。

平城宮跡草刈りレポ

内河 洋文

毎日、天気予報とニラメッコ。ゴールデンウィーク期間中の夏日とは打って変わって、曇りの予報に思わずラッキーと叫んだ。気がかりは7日朝までの雨で田圃がぬかるんでいないか。



5月9日、予報は曇りで気温は最高19度と、草刈りには最良の天気になったが、北風強く寒い朝にな

った。午前8時、ならやまベースキャンプに、景観グループを中心に草刈りのベテラン18名が勢揃い。参加者は後期高齢者組の方が多数を占め、体力勝負の様相。事前に準備していた機材などを2台の軽四輪トラックに積み込み、作業に当たったの指示と、特に怪我をしないようにとの注意喚起があった。全員で気合を込めて「エイ、エイ、オー」。いざ出陣、目指すは平城宮跡の「東院庭園」南の休耕田。

今回で5回目となる面積5000㎡を有する休耕田の草刈りである。



9時前に現場に到着し、早速機材などを降ろし草刈りの準備をした。作業開始に当たり、集合写真と草刈り前の様子を写真に納め、作業場所の人員の割り振りが行われた。



各自それぞれの持ち場に移動、草刈りが始ま

った。刈払機12台と自走式の草刈機4台のエンジン音が、平城京の朝の静寂を破り、雲雀のさえずりもかき消してしまった。



心配していた田圃の状況は、思いのほか水はけが良く、自走式モアやスパイダーはフル回転、

草が柔らかく刈払機もスムーズだ。曇天と北風の為、汗をかくこともなく、むしろ寒いくらいの中で、作業は順調に進んだ。

1回目の休憩。差し入れのお菓子を美味しく頂きながら暫し歓談。作業が順調な為か、みんなの顔には余裕の表情が窺えた。



2回目の休憩後草刈りを再開し、11時過ぎには全体の9割方が終了。こうなると更にピッチが

上がり、昼前にはほぼ全体の草刈りが終りそう。早く作業が終わった班は、遅れている班の応援に回るなど協力して作業をした。側溝周りや畦道の刈り残しの箇所もきめ細かく丁寧に行い、指定された場所の草刈りは午前中に終える事が出来た。

待ちに待った昼食タイム。田圃の中にブルーシートを敷き、その上で和気あいあいと弁当を頂いた。しっかり休憩も取れ、体力も気力も充実したのに... 刈る草がない!! 田圃の中の廃棄物を回収し、機材と一緒に軽トラに積み平城京を後にした。天候に恵まれ無事に終わることができ、本当に良かった。参加頂いた皆様お疲れ様でした。

最後に毎回、軽四輪トラックを出して頂いている鈴木さん、澤田さん、ありがとうございます。次回もよろしくお願ひします。

仲間入りしました



柴田 秀夫

今春4月より仲間入りをさせていただきました柴田秀夫（昭和23年11月12日生）です。

生まれは栃木県日光市ですが仕事の関係で大阪・栃木・奈良と移り変わり、奈良に住み40年になり、これまでの人生で奈良が一番長くなりおそらく私の終焉の地になると思います。

知的障がい者支援施設・高齢者福祉施設などに勤務し60歳で定年退職、1年間はこのんびりとさせていただきましたが縁あって62歳より奈良市社会福祉協議会に勤務させていただきました。昨年11月に75歳を迎え後期高齢者の仲間入りを機に今春で仕事を卒業。平成23年、定年を機に入会した「男の料理クラブ」(公民館活動)の仲間より「奈良・人と自然の会」の活動を教えていただき仕事を卒業した今春、自身の健康と体力の維持・増進のため仲間入りをさせていただきました。

金婚式を迎えるのを機に始めた日本一周・日本100名城を訪れる旅もコロナ禍での中断もありましたが昨年の春、桜前線を追って東北地方を約1か月かけて車で旅し無事完了しました。60歳代には車中泊や夜間の走行など苦にならず無理もできましたが、年を重ねるにつれて一日に走れる距離も徐々に短くなり目や身体の疲れも早くなってしまいました。北海道・関東・中部・九州・四国・中国などそれぞれの土地に旨いものや見どころなど一杯で見落としている所もありまだまだ訪れたい所が沢山あります。入会して1か月、ならやま里山林のこと、活動の内容、メンバーのお名前などまだ把握できていませんが少しずつ、少しずつ覚えていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

60 数年前の四国の故郷を思い出させる 平城山の自然にあこがれて！

矢野 豊

定年退職後、長い間住んでいた岸和田市から貝塚市の現住所に転居して、5年が過ぎた頃に近くの農家の人から、放置していた畑を草刈り等の管理をすることを条件に無料で借り受け、1年間かけて覆い茂った雑草や低木を除去して広さ約600㎡を更地にして、野菜作りを始めて約7年になります。まだまだ素人ですので、よく失敗することがあります。ただ、収穫期には近所の人や子供会などに作業を手伝ってもらい、作物をあげて大変喜ばれています。それを楽しみに野菜作りをしています。可能な限り、無農薬・有機肥料を使用して野菜を栽培していますので、時折、害虫等の被害で収穫ゼロの野菜もありますが、気長にまた来年もあると思って続けています。

昨年4月から1年間、シニア自然大学第30期生として、関西各地の郊外に出かけて自然の生物の講座を受講して、今までほとんど経験していなかった植物や野鳥の生き方を観察しました。私の歩んできた80年の人生は、今まで何をしてきたのだろうかと思わせられました。講座の中で、いこま棚田クラブの活動に参加して、その地域で長年にわたり、自然保全のため活動されていることに感動しました。

今年3月中旬に、最後の認定実習として「奈良・人と自然の会」の活動に参加させていただきました。最寄りの駅から住宅街を通り、広い道を渡ると、反対側には竹林があり、会のベースキャンプの侵入路を降りていくと、そこはもう現代社会とは別世界の風景が眺望できました。今年4月に入会させていただきました。これから、あと何年間つづけられるかわかりませんが、みなさんから元気をもらい、足腰が丈夫な間は平城山へ通って来ようと思います。よろしくお願い致します。

平城山 礼讃

小山 喜与男

「奈良・人と自然の会」に通い出して11年を過ぎました。

1988年52歳で「肩たたき」に遭い自由な時間が増えた。タイミングよく京都府が山城(棚倉)近郊で里山ボランティア募集するとの新聞記事を目にした。早速飛び付いた。

ところが応募者が定員を超過、抽籤の結果落選の憂き目を見る。間もなく落選組の有志から落選者仲間で「みどりの会山城」結成の打診がきた。即座に入会した。然しながら遠路からの参加はアクセスの悪さも災いし数年で退会。

その後湖国は固より、六甲の東お多福山の笹刈り等に参加した。なかでも近江富士「三上山」近くの山火事の焼失跡での植林活動は忘れられない。

併し、何れも永続させず75歳にしてこれも新聞記事が縁で「シニア自然大学校」19期に入学した。(当時学校当局は私の高年齢を危惧していたと仄聞した)そしてたどり着いたのが当会である。

はて、平城(へいじょう)と思い込んでいたが平城山(ならやま)とは、これ如何に、疑問がはしった。平城京とは関係なく「平(なら)す」に由来するとの説がある。平地に築いた城とも解せる。「ひらじろ」があったのだろうか。

モットーに「無理をせず」とあり、この会の象徴的な行動指針とみる。会員は黙々と遣りたい作業にマイペースで当たる。その表情は明るくひたむきさがある。

強調したいのはアクセス(JR平城山駅より徒歩10分)が抜群。駅改札を出るや60段を越える階段は老輩にはこたえるが高架橋を歩きおわるとメタセコイアの巨木と整備された小花壇と続く。瀟洒な住宅街を眺めながら車道に沿って生い茂る竹藪を経て枕木製の階段を降りると視界に入る景観はいつも新鮮だ。ここで一呼吸。

四季折々の表情の変容をつぶさに観ながら、耕地に目を遣ると会員の栽培している花卉や野菜がところ狭しと成長し、生き競っている。毎回同じ場所でありながらいつも新鮮な田園風景がある。此処に毎週7~80人の会員が参加している。何と素晴らしいことではないか。

ここに至る会の道程は一筋縄ではいかない。先人諸兄の回顧録にある通り、入植当時のご苦労が胸を打つ。竹笹が蔓延り、大型ゴミや家庭ゴミの捨て場と化した荒廃の地に啞然とされたであろう。

当初は「無理をせず」ではなく「無理をせざるを得ない」状況であったと推察している。

一時、全国に猛威を振るった「松枯れ」や、その後やって来た「ナラ枯れ」との格闘も苦い記憶として残っていよう。

現在(いま)、十年に亘り参加し続けて想うのは、年毎に同じ作業の繰り返しであるが飽きがない、この不思議に想いを馳せる。季節に応じて栽培する作物はほぼ固まっており、あとは成長に目を配り収穫の歓びで報われる。将に「楽園」といえよう。

大昔(西暦千七百五十年頃)「不耕貪食」という言句で世に警鐘を鳴らした人がいたが当時と異なった意味で耕さずして、貪り喰う人々が大半を占める。

ささやかな自己満足といえるかもしれないが土をいじくり、食料を穫る作業の尊さを覚える場をいただいている仕合せを、今、手にしている。

今年1月、10年継続会員記念植樹の吊札に我が名が彫り込まれた。記念樹の成長と併せ我が名も見届けて参りたい。



海外ボランティア活動体験記-9

パラグアイ (1997-2002)

木村 裕

私たち海外ボランティアは発展途上国で長く暮らすため、赴任前に綿密な健康診断を行い、いろいろな予防接種（破傷風、狂犬病、肝炎など）も行い、海外向けの健康保険にも入り、健康面で万全な態勢で出発しますが、機械ではありませんので、トラブルごともあります。その時には赴任国で最も先端的な医療機関で受診することにはなっていますが、健康管理は自分自身の責任です。

5年間の任期中、私のトラブルは下痢が2回（1回は厳しかった）、風邪3回（喉の痛み+咳+頭痛）、アレルギー性鼻炎（薬を持参）の悪化、ハチ刺され1回。

ウィフは嘔吐、貧血を伴う下痢3回（1回はトイレで意識を失う）、アレルギー性鼻炎、膀胱炎2回、犬にかまれること2回（狂犬病が恐ろしくて数日間噛んだ犬の動向に注目）

幸いにも2~3日、家で養生する程度で、現地の医療機関にかかることはありませんでした。

家具や電気製品、文房具、日常雑貨などはショッピングセンターに行って探せば手に入りますが、いつでも手に入るとは限りません。現物限りが大半で、なくなればつぎは何時入荷するかまったく分かりません。それゆえ欲しい物は見つけたときに買っておくのが鉄則です。

仲間の一人が靴を買いに行ったところ、自分に合うサイズがなかったので、欲しいサイズの有無を問うと、靴はそこにある現物のみで次は何時入荷するか分からないとのこと。靴が先にありきで買いたい人は靴にあう足を準備しなければならぬらしい？

売り場に並んでいる商品は、見かけ上はそれなりの物ですが、品質に関しては信じられないほど悪く、安さ優先の世界です。

ボランティア仲間の一人が近くのスーパーで鉄製の金槌（片側がくぎ抜きになっているタイプ）を5個買ってきて、釘を抜いたところ、柄の部分がグニャリと曲がったそうです。それではと次のを取り出してやってみると同じように曲がったそうです。そのことを知らなかった私は柄と頭の角度が異様な金槌を見て、パラグアイには変わった金槌があるものだと感心し、どのような場面で使う物かと考えた次第です。おまけに柄と頭の接続が甘く、すぐに抜け落ちてしまい、結局5個とも1回使うと頭がグラグラ。おまけにパラグアイの材木はやけに堅く、それに反して釘の方は柔らかくすぐにグニャリと曲がります。郷に入っては郷にしたがえですが、それを辛抱できないのが日本人で、いろいろ悩みの種が付きません

・単三電池を20個買ってきたところ、有効期限内であるにも関わらず、どれも一瞬で寿命が尽きました。

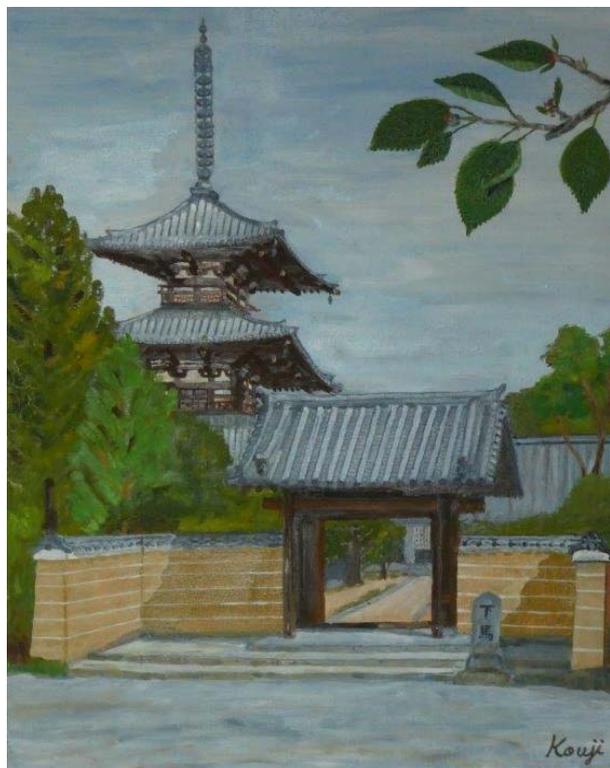
・ロングライフの牛乳がヨーグルトに進化？
・雨の日、さしていた折り畳み傘が突然、骨がバラバラになって分解してしまった。



私たちが日々接するパラグアイの土壌はラテライト（昔、地理で習った）と言われる赤土で、郊外に出ればどこまで行っても赤褐色の土壌が広がっています。高温と激しい雨によって養分が分解・流出したと言われ、日本の黒い土とはまったく異なっています。そのため仕事で畑をうろうろするとズボンの裾は見事に赤茶色に染められます。



Gallery ならやま



油絵 20号 法輪寺 永井 幸次



陶芸 調味料入れ 桜木 晴代



竹細工 籠 辻 敏美



水彩画 龍 戸田 博子

掲載作品はホームページではカラーでご覧いただけます。皆さまからの作品のご応募をお待ちしております。絵画・陶芸・写真・墨絵・手芸・パッチワーク・切り絵・自然工作など。

行事案内

春の感謝祭 (じゃがいも祭り)

日時：6月27日(木) 12時より

※予備日 6月28日(金)

メニュー：ご飯(白ご飯と黒米入り)

カレー：ルーカレーとスパイシーカレー

サラダ、デザート(当日のご期待)

注) カレー用お皿とスプーン、サラダ用のお皿をご持参ください。

◇ ◇ ◇

ならやまの草木は新緑から深緑(ふかみどり)へと移り美しい季節になってきました。初夏を過ぎると気温はぐんぐんと上昇し、真夏日の日が多くなり、作業も大変になります。適切な水分補給と休憩を取りながら、体調には充分気を付けなければなりません。エコグループでは午前10時半ごろから休憩(ティータイム)を取り、持ち寄ったお菓子やコーヒー、紅茶などを頂きながら、エコの話題や巷のニュースにも話がはずみます。

さて、今年も恒例のイベント「春の感謝祭(じゃがいも祭り)」が上記の要領にて開催されます。

エコファームでは、ならやま産のじゃがいも、新たまねぎ等を使い、メンバーの小山さんを中心にスパイスの効いた特製カレーと採れたての野菜サラダを用意します。また、今では定番となった、ならや産の黒米(さよむらさき)入りのご飯も用意します。

賄いグループと一緒に調理するおいしいカレーと野菜サラダを存分に味わっていただきたいと思います。会員のみなさん多数の参加をお待ちしています。エコファームグループ 一同



7月月例研修会のご案内

六甲山の六甲高山植物園など散策

富井 忠雄

六甲高山植物園は1933年開園の歴史ある高山植物園。標高865mに位置する園内は、夏場は平地より5°C~8°Cは涼しく避暑に最適。六甲山自生植物から世界の高山植物、寒冷地植物まで約1500種の植物が栽培されています。牧野富太郎と関西の仲間たち展も見られます。

六甲ガーデンテラスは、標高880mにあり、敷地内には「見晴らしのテラス」や大阪・神戸方面を一望できる「見晴らしのデッキ」など、ビューポイントが一杯。他飲食店や数件のショップがあり、お土産など買えます。

帰りには、灘の酒蔵を巡ります。

記

- 1, 日付：7月1日(月)(雨天実施)
- 2, 集合：近鉄奈良駅前元商工会議所前 9時
- 3, 持物：弁当、飲物、雨具、敷物、運動靴
- 4, 申込先：富井忠雄
- 5, 会費：6000円(入園料、バス代など)
- 6, 行程：元商工会議所前 9時—宝来第2 阪奈—阪高13号—神戸線5号湾岸線—住吉浜—六甲高山植物園(昼食)—六甲ガーデンテラス—灘神戸酒心館—住吉浜—神戸線—宝来—近鉄奈良駅前 17時頃



六甲高山植物園

六甲ガーデンテラスより



2024年5月度 幹事会報告

開催日：4月26日(金)

I はじめに

- ・奈良県古都管理係長ほかご担当がならやま来訪、ベースキャンプ周辺と里山林を案内し整備計画を説明した。

II 会計、総務部より

- ・会員動向：133名(家族13名)
入会3名 退会12名

- ・会計：収支報告あり

III 活動・行事関係

*ならやまプロジェクト活動

- ・5/9 平城宮跡東側休耕田の草刈りを行う 17名参加予定。雨天時は5/16
- ・5/30 午後、活動全般についての安全講習会
- ・里山グループから里山整備計画について説明があり、妥当であることを確認した
- *ただし次世代を含めて長期間にわたって保全活動が持続できるよう計画的に進めるように留意

*自然林は危険木の伐採に止める

IV 企画、助成金事業案件

- ・来年度の助成申請について検討中

V 特定議題

- ・総会資料と総会運営シナリオの確認
- ・組織体制の変更確認

VI 広報関係

- ・ネイチャーなら6月号編成内容説明
- ・HP画面のスリム化検討中

VII 報告・連絡事項、その他

- ・月例研修会：6/4 宇治川で宇治十帖・紫式部
- ・自然教室：5/13 田代先生 大阪側の生駒山麓
- ・ネット通信利用環境調査説明
メール送信エラーになっていないのに返信がない会員約50名について再確認が必要

以上

次回幹事会 5/28(火) 中部公民館 14:00～



七十二候は、太陽や月の動きだけでなく、気象、草木、虫、鳥などの動きをもとに、季節を

72に分けて表現したものです。太陽の1年の動きを表したのが「太陽暦」で、月の1か月の動きを表したのが「太陰暦」です。旧暦(太陰太陽暦)は月の満ち欠けをベースに太陽の動きを加味したもので、明治5年まで「日本の暦」として、約1400年使われてきました。旧暦の春夏秋冬は、立春、立夏、立秋、立冬です。これを24区分したのが二十四節気で、さらにこの一節気を3等分(初候、次候、末候)したのが七十二候です。

七十二候の源流は、中国の春秋時代前期にさかのぼるといわれています。華北地方で作られた七十二候は、日本の季節感とはかなりずれがありましたので、日本の風土に合わせて改変され、今日伝えられています。

今年の二十四節気の立夏は、5月5日～19日です。七十二候の初候(5月5日～9日)は「蛙始鳴」(蛙が鳴き始め、元気に動き回る頃)です。

自然に寄り添う昔からの生活の知恵を生かし、季節感を感じる生活を大切にしたい。

7月ならやま活動&行事予告

- *ならやま活動 7/4 協働活動日
- 7/20 夏だ休みだ里山で遊ぼうイベント
- *例.研 7/1(月) 六甲高山植物園

会員動向(敬称略)
<退会者> 5/20 辻窪 有紀

発行：奈良・人と自然の会
URL：http://www.naranature.com
編集代表 Mail: editor@naranature.com
編集委員：青木(幸)・尾崎・千載
田中(善)・戸田

表紙写真：鹿よけネット周辺の雑草はネットを傷つけないように手鎌で刈り取ります。